

## 幡多の食や文化を2万人が満喫「はたフェス2011」

9月24日、秋晴れの青空の下、四万十市入田のキャンプ場で「はたフェス」が開催されました。

今年5月、中村青年会議所を中心に幡多広域6市町村などが実行委員会を組織。地域や世代を超え、「みんなでつくる幡多の新しいお祭り」として企画されたものです。

会場には市町村や個人の出店ブースが並び、SUNステージでは、幡多の郷土芸能から、餅投げ、ダンス、よさこいなど、幅広いプログラムを披露。早食い競争や×クイズなど参加型のイベントも。

MONステージで練り広げられた関西のアーティストによるパフォーマンスは、幡多ではなかなか見られない斬新な演出で観客を圧倒しました。

多くの人の力で、ジャンルの壁



テントに大方誠心園のTシャツを展示。



カツオTシャツの塗り絵。  
(砂浜美術館)



ポイントラリーの子どもたち。  
(二コの種類)



豪快！黒潮かつお体験隊の「カツオの解体ショー」。

を越えて実現した幡多最大級の野外フェスは、予想を超える2万人の来場者でにぎわいました。ここで生まれたつながりが、幡多の活性化の原動力になることを期待しています。

## 第1回黒潮町サッカーフェス

9月17日・18日の2日間、黒潮町で初となるサッカーフェスティバルが開催され、町内外や愛媛県から中学校11チームが参加し、交流試合を行いました。

本大会は、地元出身のプロサッカー選手・藤田泰成さん（FC町田ゼルビア）の後援のもと、実践を通じて、技能の向上、健康な心身の育成、交流親睦などを図り、幡多地区のサッカーの強化を目指すものです。時々激しい雨が降る悪天候の中、選手たちはさわやかなプレーを見せてくれました。

19日には砂浜トレーニングの講習会も。中学生の体づくりや砂浜トレーニングの効果を学習した後には、実際に砂浜での練習メニューを体験しました。



↑優勝は宇和島南中学校でした。

佐賀中学校の黒田怜遠くんが12得点を上げ「得点王」を受賞。



## ジュニアビーチバレー大会



熱戦を制し、地元・上川口の大方くじらっ子チームが、見事優勝に輝きました。

10月2日、上川口港鯨公園内のビーチスポーツ広場で、第1回鯨カップ（ジュニアビーチバレーボール）が開催されました。

鯨公園開演イベントの1つとして行われたもので、遠くは高知市など、町内外の小学生バレーボールチーム10チームが参加。4人制のローカルルールで、予選リーグ、決勝トーナメントと激しい熱戦を繰り広げました。

日ごろ体育館でバレーボールを行っている子どもたちは、慣れない砂の上に苦戦しながらも、普段とは違った屋外でのバレーボールに、笑顔で元気がいっぱいプレーし、応援席も大変盛り上がりました。